

鹿島平和研究所

外交研究会

東京2017年10月26日

総選挙後のドイツ
選挙結果の分析と新政権の今後の課題

Franz Waldenberger

ドイツ日本研究所 所長

e-mail: director@diptokyo.org

総選挙後のドイツ 選挙結果の分析と新政権の今後の課題

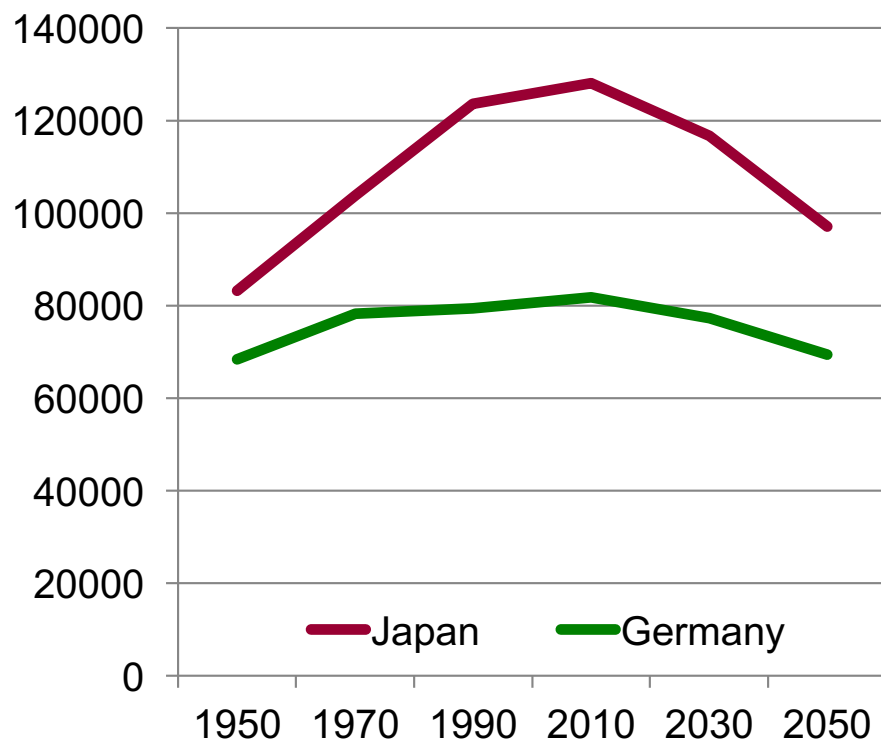
1. ドイツの選挙前の状況
2. 今回の選挙戦
3. 選挙結果
4. 今後の課題

ドイツの選挙前の状況

- 人口動態
- 社会
- 経済
- 難民問題

人口動態

- ・ 高齢化・人口減少は日本とほとんど同時に行われている、しかし日本ほど急激ではない



	Germany		Japan	
	20-64	75+	20-64	75+
1950	60	3	49	3
1970	56	4	60	4
1990	63	7	62	8
2010	61	9	59	17
2030	55	14	54	25
2050	52	20	48	32

人口動態

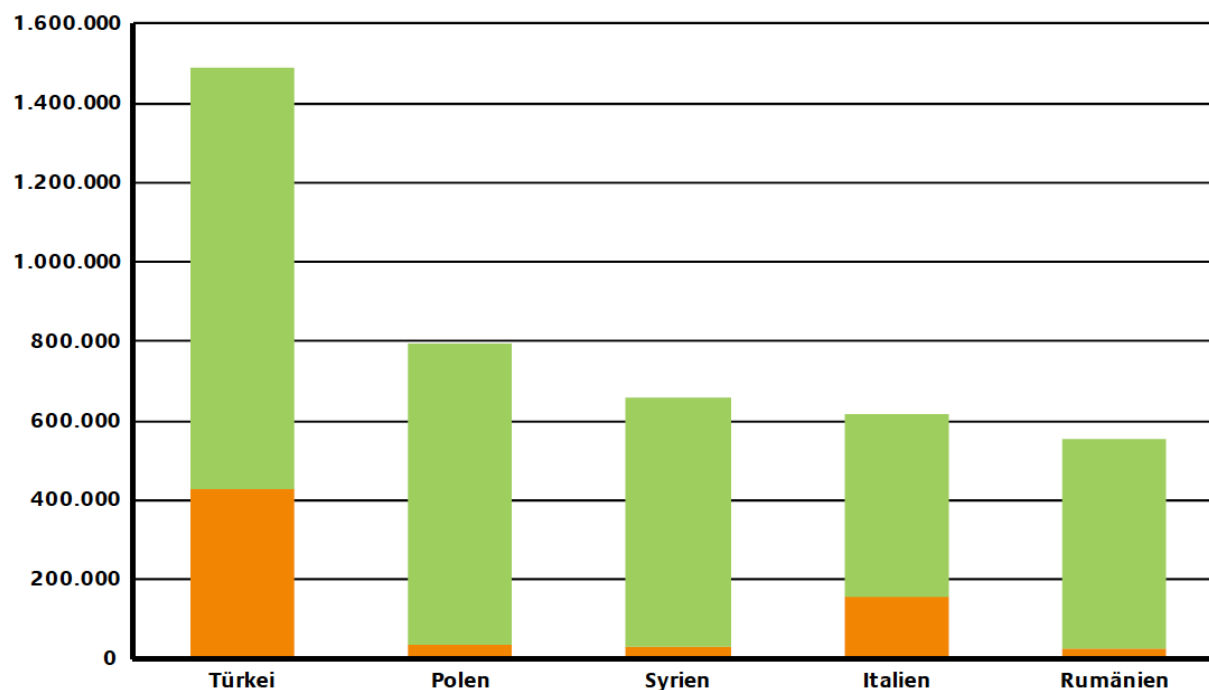
- 女性参加、仕事と家庭の両立や移民政策は議論の主なテーマ
- **IoT**やロボットへの期待は日本ほど高くない
- 介護はポーランドの労働力に依存している
- エンジニアの七人に一人は外国生まれ

人口動態

• 外国人人口の推移

1998	7.319.593
1999	7.343.591
2000	7.296.817
2001	7.318.628
2002	7.335.592
2003	7.334.765
2004	6.717.115
2005	6.755.811
2006	6.751.004
2007	6.744.879
2008	6.727.618
2009	6.694.776
2010	6.753.621
2011	6.930.896
2012	7.213.708
2013	7.633.628
2014	8.152.968
2015	9.107.893
2016	10.032.236
31.03.2017	10.142.486

外国人の国籍ランキング (Top 5)

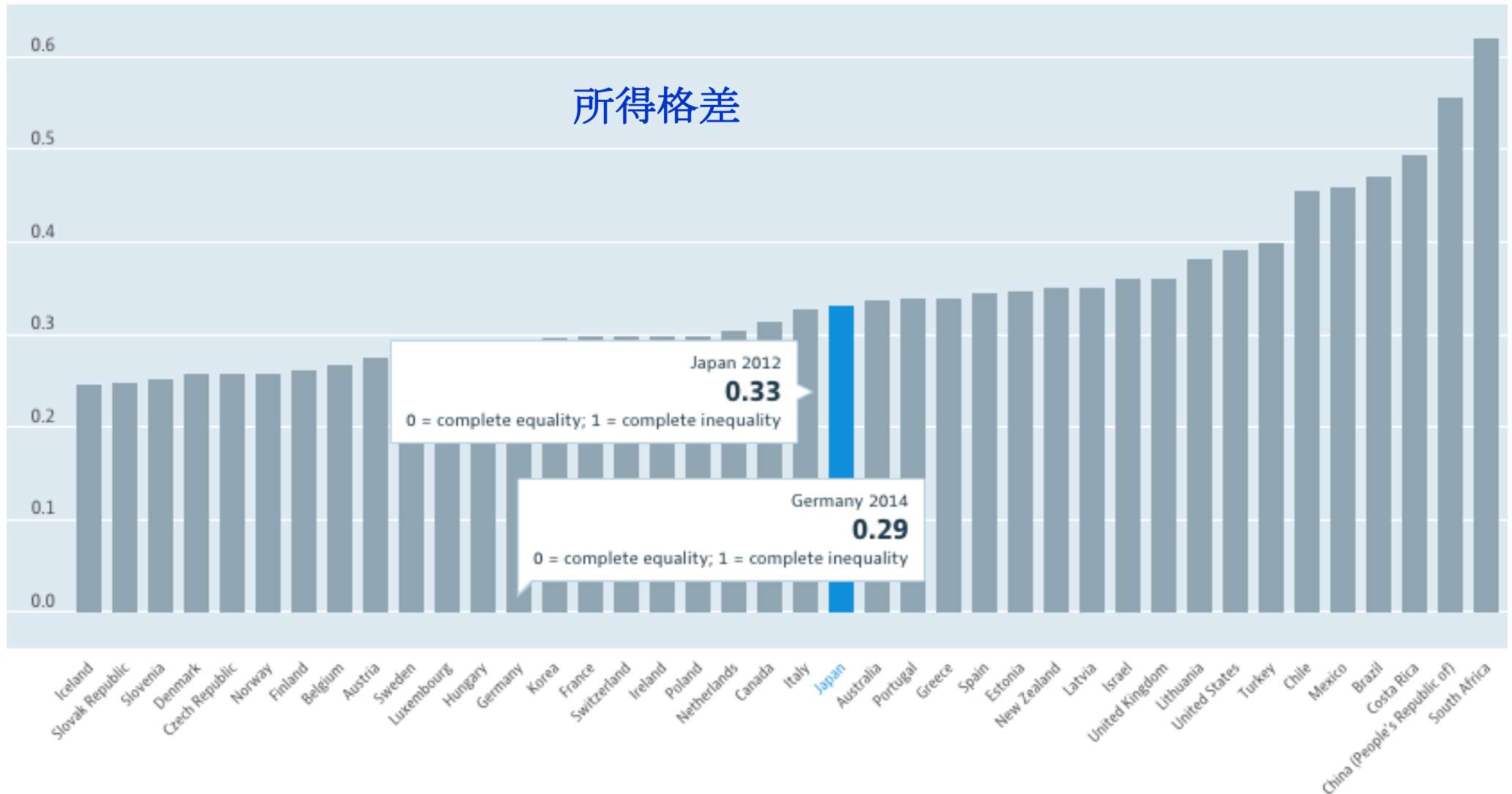


11%

- 人口の20%は本人あるいは親世代が外国生まれ

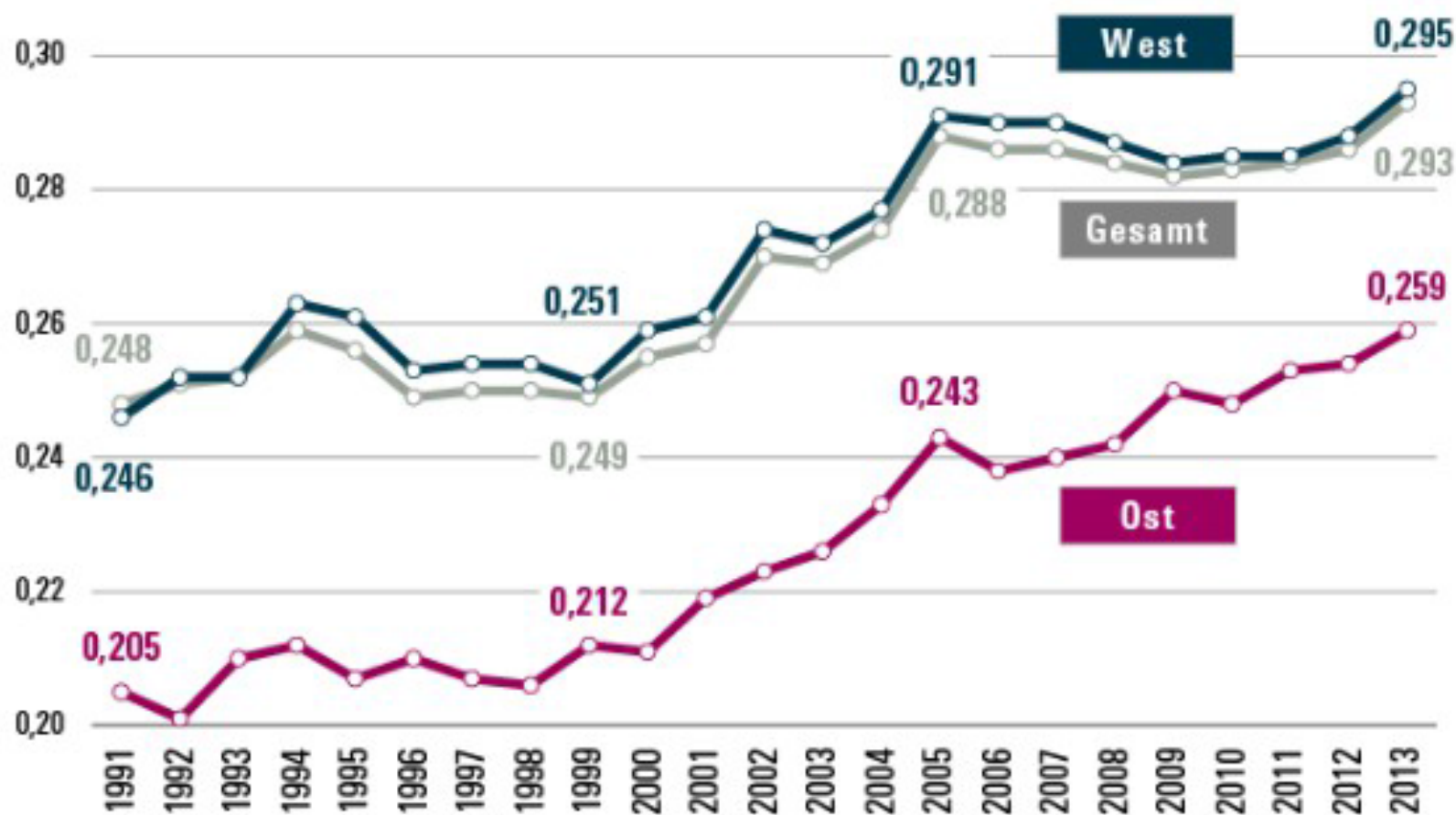
社会

所得格差



社会

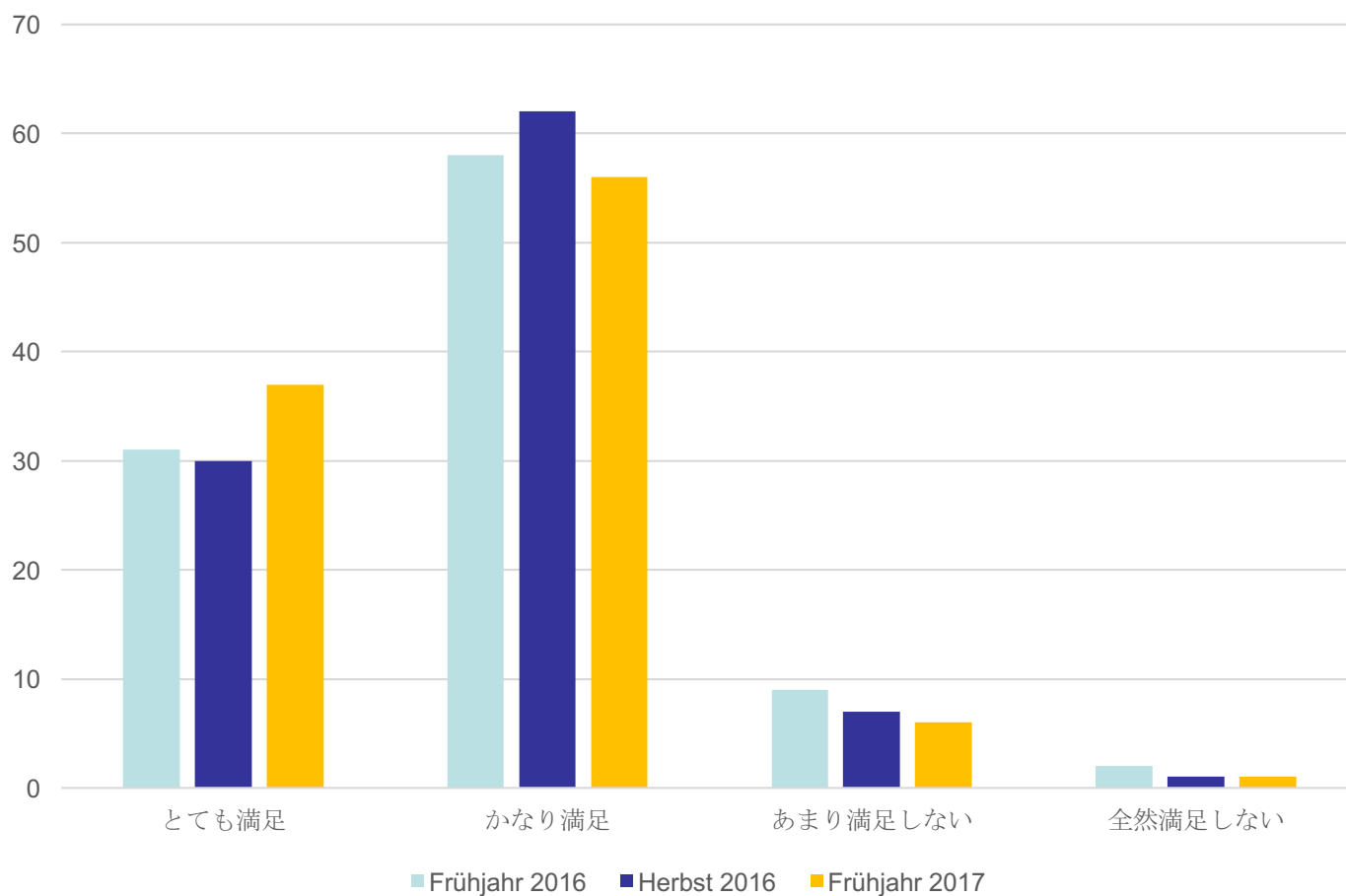
所得格差の推移



Daten: SOEP Welle 09-31; eigene Berechnungen

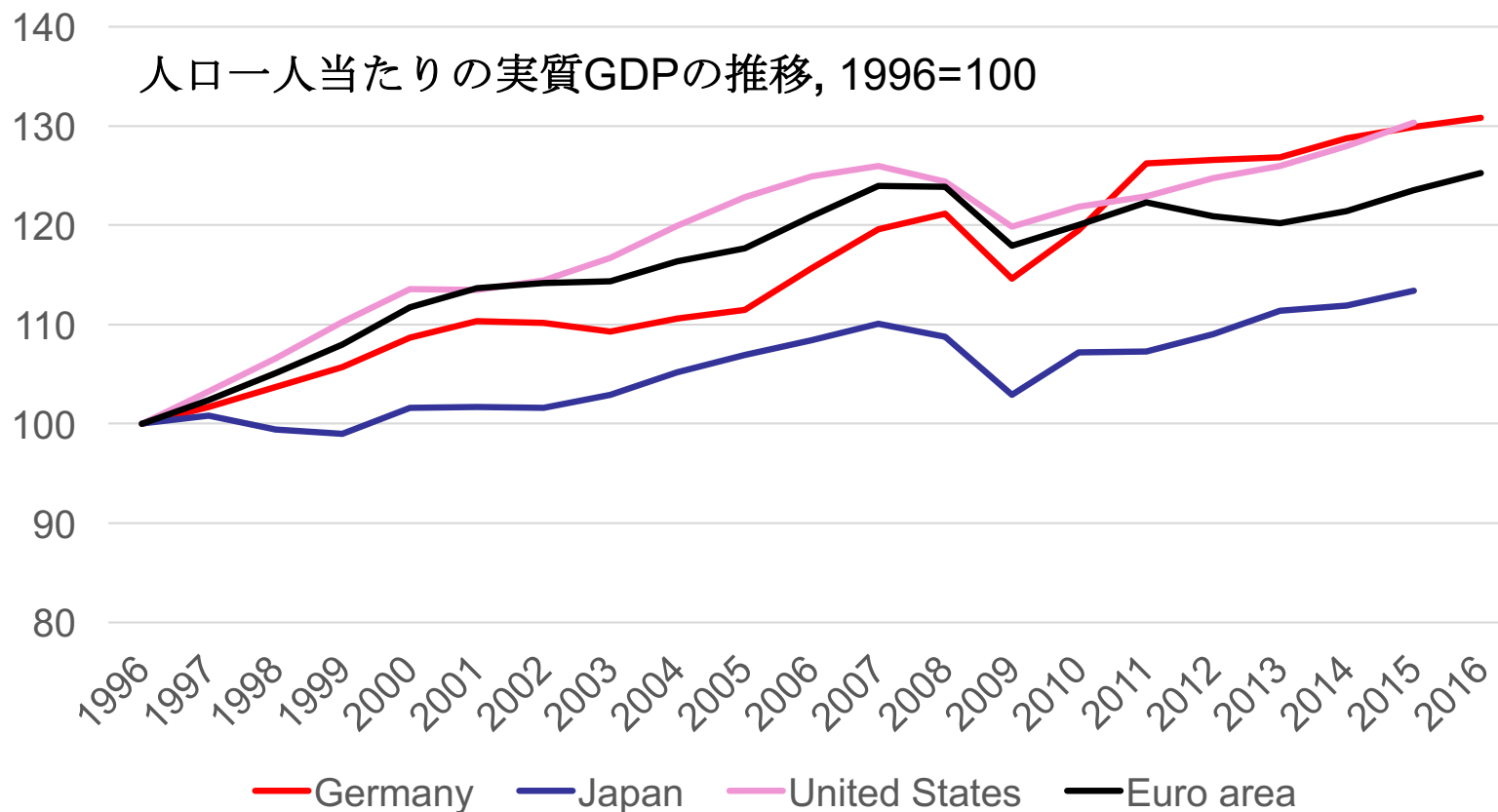
社会

ドイツ人の満足度



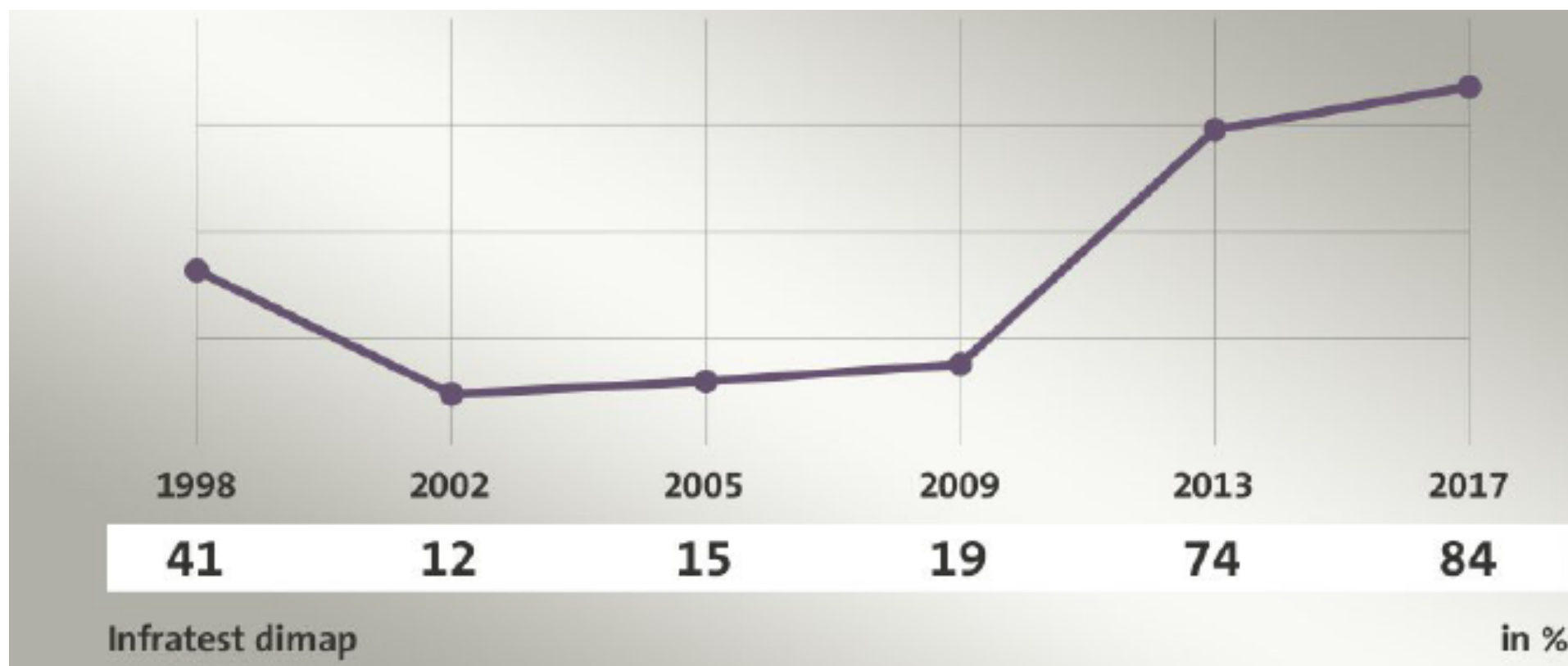
経済

良い成長パフォーマンス



経済

- ドイツ経済状況は良いと思う人の割合



ドイツの選挙前の状況

経済

- 短い労働時間と高い労働生産性

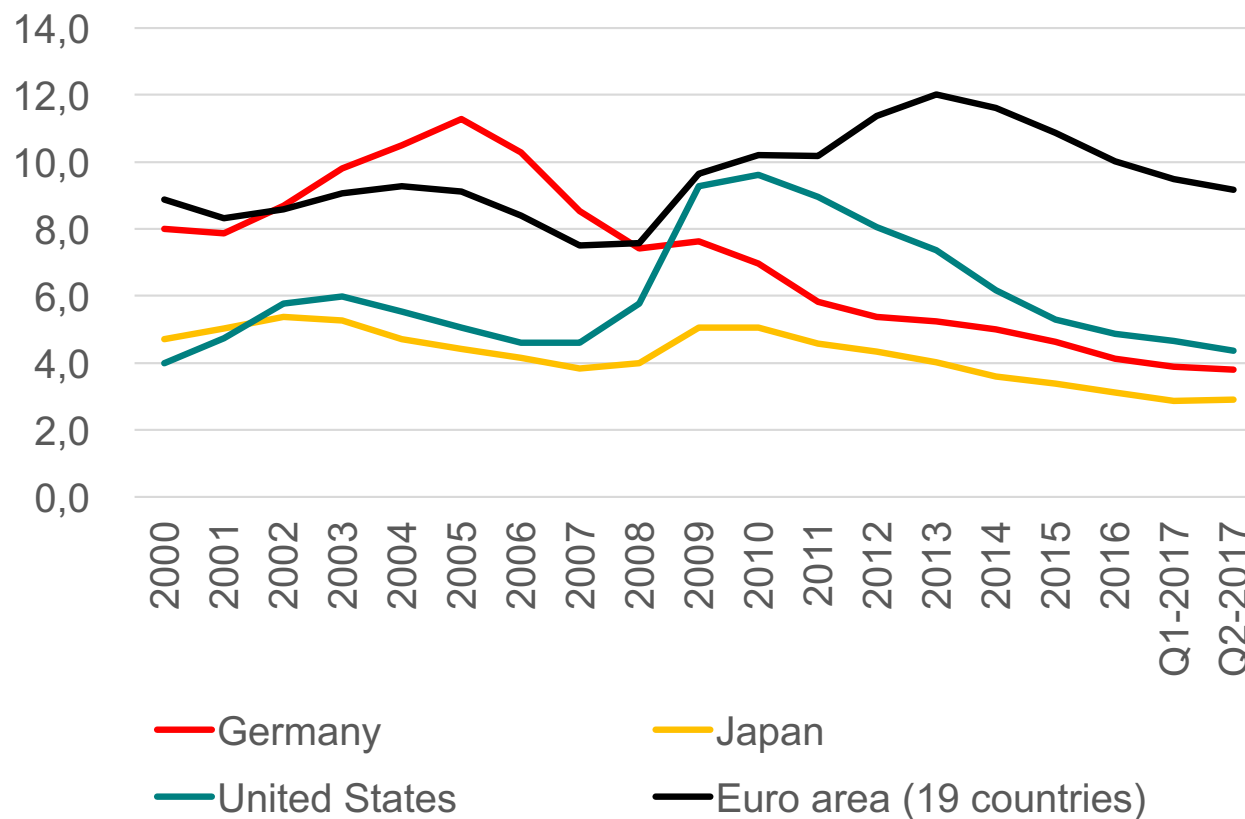
一人当たり **GDP** = 就業率 x 年間平均労働時間 x 労働生産性

	一人当たり GDP	就業率	年間平均労働 時間	労働生産性
ドイツ	85	107	76	104
日本	72	109	96	69
米国	100	100	100	100

OECD, 2016 employment/labour statistics

経済

- 失業率は比較的低い



経済

対GDP比の財政赤字

財政の健全化は海外からは批判を浴びている

暦 年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
日 本	▲ 8.0	▲ 7.6	▲ 6.1	▲ 5.3	▲ 3.3	▲ 2.8	▲ 3.4	▲ 9.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 8.1	▲ 7.8	▲ 5.5	▲ 4.8	▲ 4.5	▲ 4.5
米 国	▲ 6.3	▲ 7.5	▲ 6.8	▲ 5.5	▲ 4.4	▲ 5.1	▲ 8.5	▲ 14.1	▲ 13.0	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 5.9	▲ 5.2	▲ 4.5	▲ 5.0	▲ 5.2
英 国	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 3.5	▲ 3.4	▲ 2.8	▲ 2.9	▲ 4.9	▲ 10.6	▲ 9.6	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 4.3	▲ 3.3	▲ 3.1
ド イ ツ	▲ 3.9	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 1.7	0.2	▲ 0.2	▲ 3.2	▲ 4.2	▲ 1.0	▲ 0.0	▲ 0.2	0.3	0.7	0.5	0.5

対GDP比の純債務残高

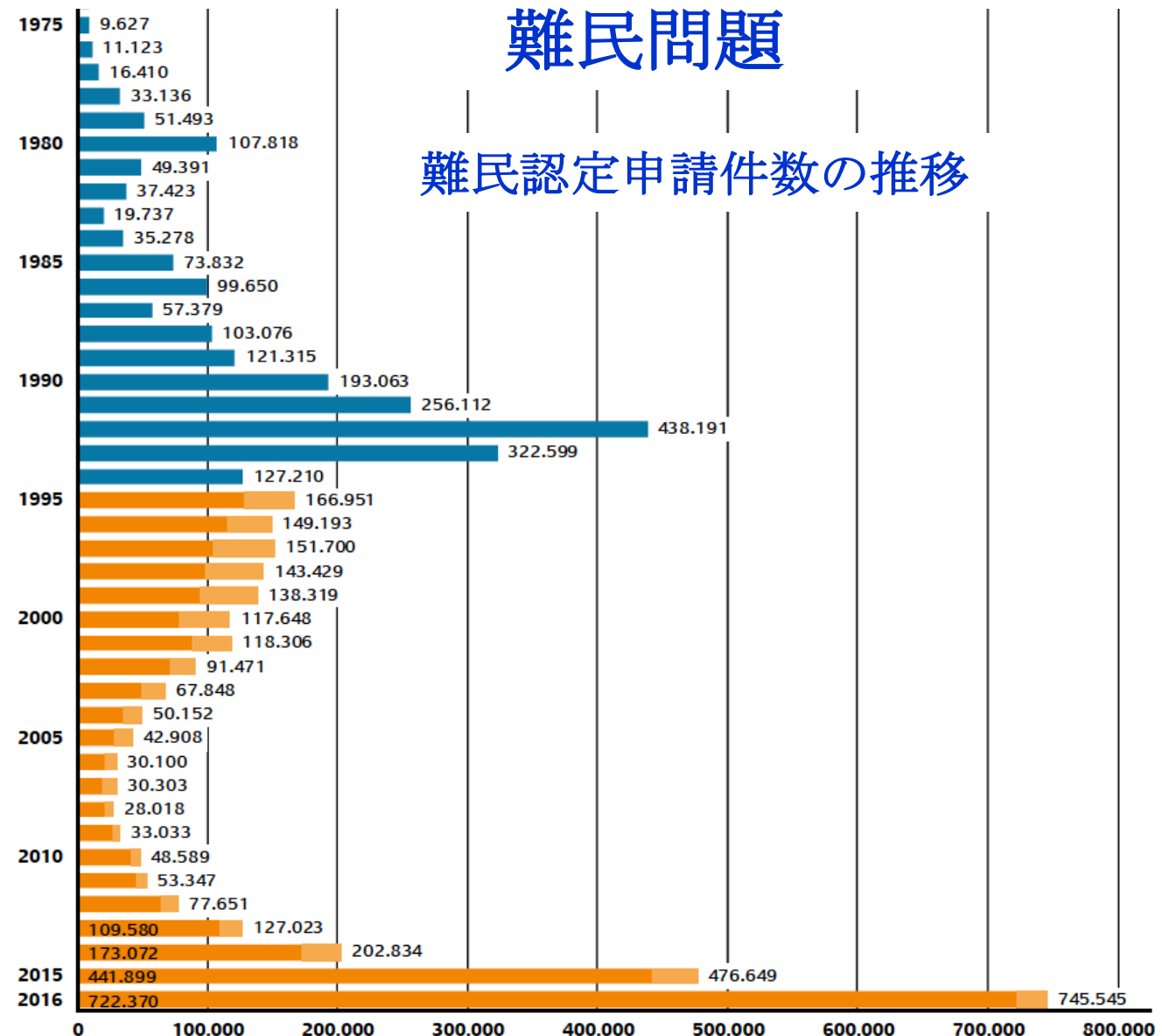
暦 年	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
日 本	74.5	77.6	82.4	82.2	81.0	80.5	95.3	106.2	113.1	127.2	129.0	124.2	126.2	125.3	127.9	130.7
米 国	36.4	39.7	46.9	46.3	44.7	44.5	50.5	62.0	69.4	75.9	79.4	80.8	80.3	79.8	82.2	82.3
英 国	30.1	31.9	34.7	36.0	36.6	37.1	44.4	57.4	68.5	72.9	76.2	77.6	79.5	80.4	80.5	80.3
ド イ ツ	42.0	46.0	48.4	51.1	50.7	47.9	47.8	54.4	57.1	55.2	54.4	53.4	50.1	47.5	45.4	43.7

財務相、2017

ドイツの選挙前の状況

難民問題

難民認定申請件数の推移



ドイツの選挙前の状況

難民問題

2016年、国別難民認定申請件数 TOP 10

1. Syrien, Arabische Republik (266.250)
 2. Afghanistan (127.012)
 3. Irak (96.116)
 4. Iran, Islamische Republik (26.426)
 5. Eritrea (18.854)
 6. Albanien (14.853)
 7. Ungeklärt (14.659)
 8. Pakistan (14.484)
 9. Nigeria (12.709)
 10. Russische Föderation (10.985)
-

難民問題

- **Merkel**首相の決断とその批判
- 市民社会のサポートと反対運動
- **EU**内のテンション
- **EU**の領域外の解決

今回の選挙戦

- ドイツ政治の歩み
- 主なテーマ
- 主な政党
- 直前の世論調査

ドイツ政治の歩み

2005以降 Merkel

1998-2005 Schröder

1982-1998 Kohl

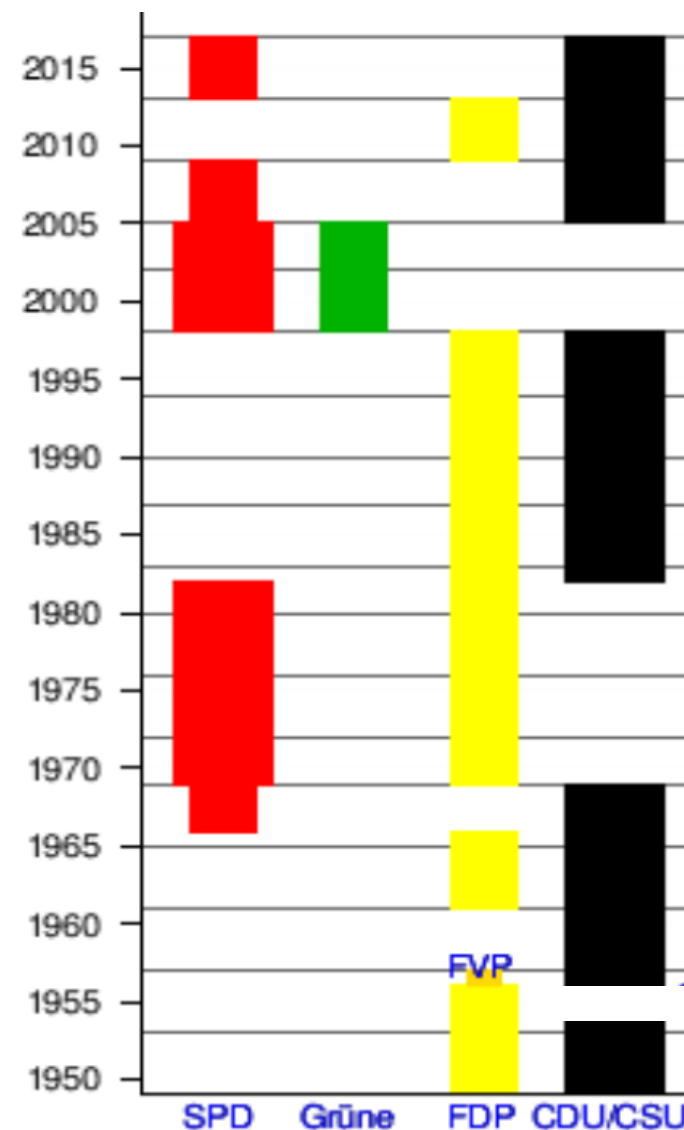
1974-1982 Schmidt

1969-1974 Brandt

1966-1969 Kiesinger

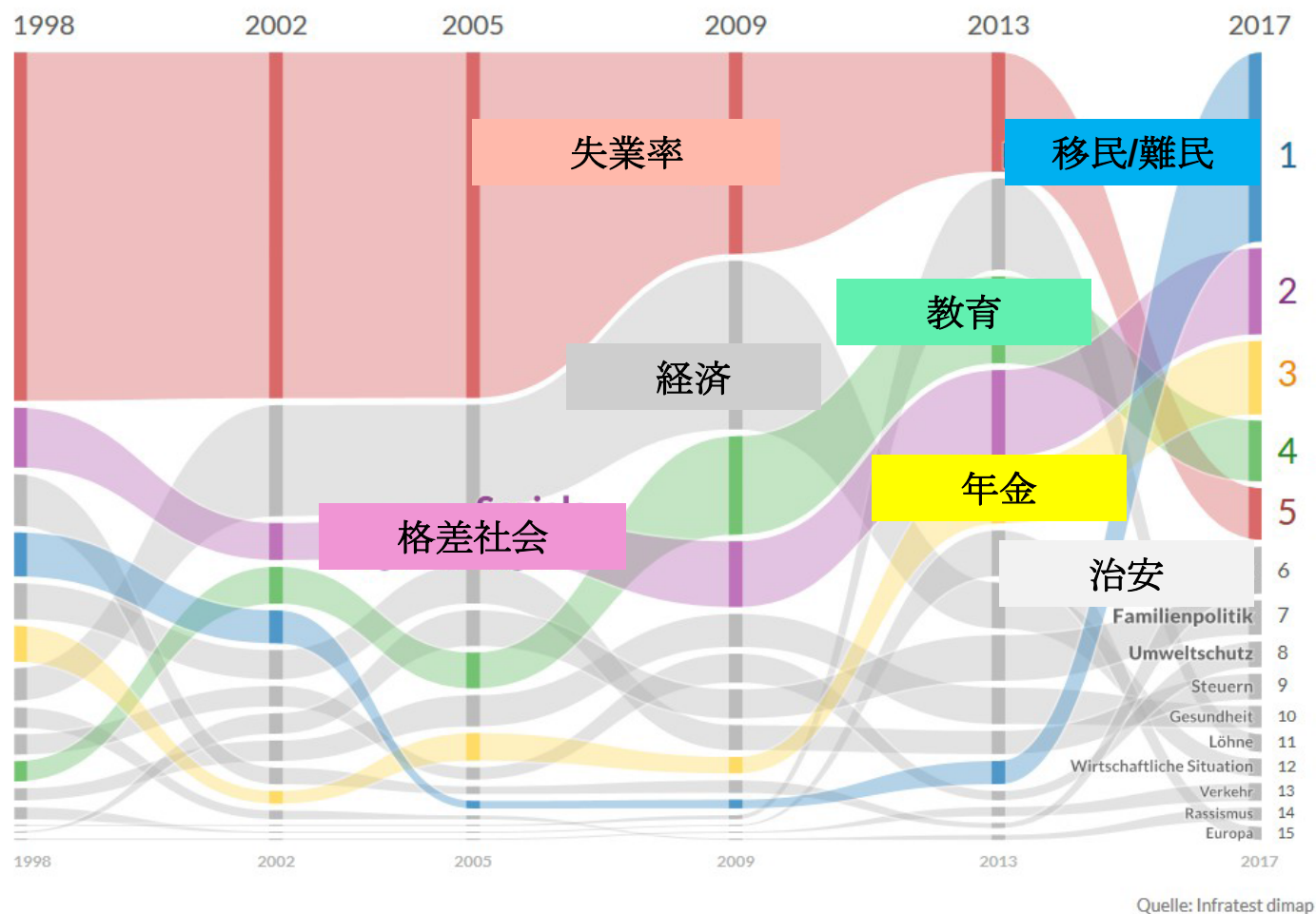
1963-1966 Erhard

1949-1963 Adenauer



今回の選挙戦

主なテーマ



主な政党

	CDU/ CSU	SPD	Grüne	FDP	Linke	AfD
難民/移民	慎重	慎重	開放的	合理・効率的	開放的	排他的
年金	年金額を引き下げ、年金委員会を設置	そのまま	保健対象者の範囲を拡大	受給年齢を廃止	年金額を引き上げ、保健対象者の範囲を拡大	受給年齢を廃止

今回の選挙戦

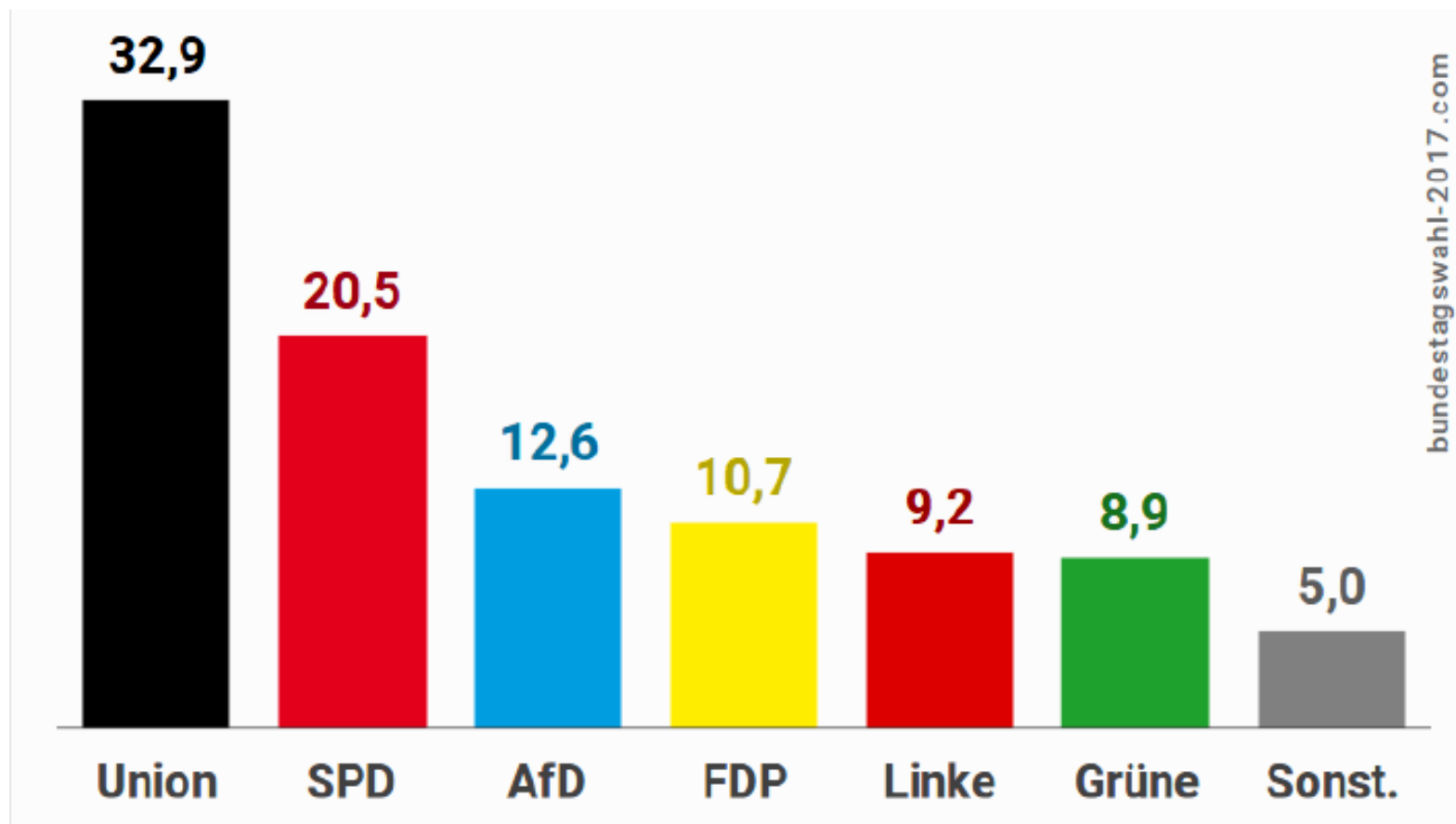
直前の世論調査

	CDU/CSU	SPD	FDP	Gruene	Linke	AfD	Sonstige
Allensbach (22.09.2017)	36%	22%	10,5%	8%	9,5%	10%	4%
Forschungsgruppe Wahlen (22.09.2017)	36%	21,5%	10%	8%	8,5%	11%	5%
Infratest dimap (14.09.2017)	37%	20,5%	9,5%	7,5%	9%	12%	5%

選挙結果

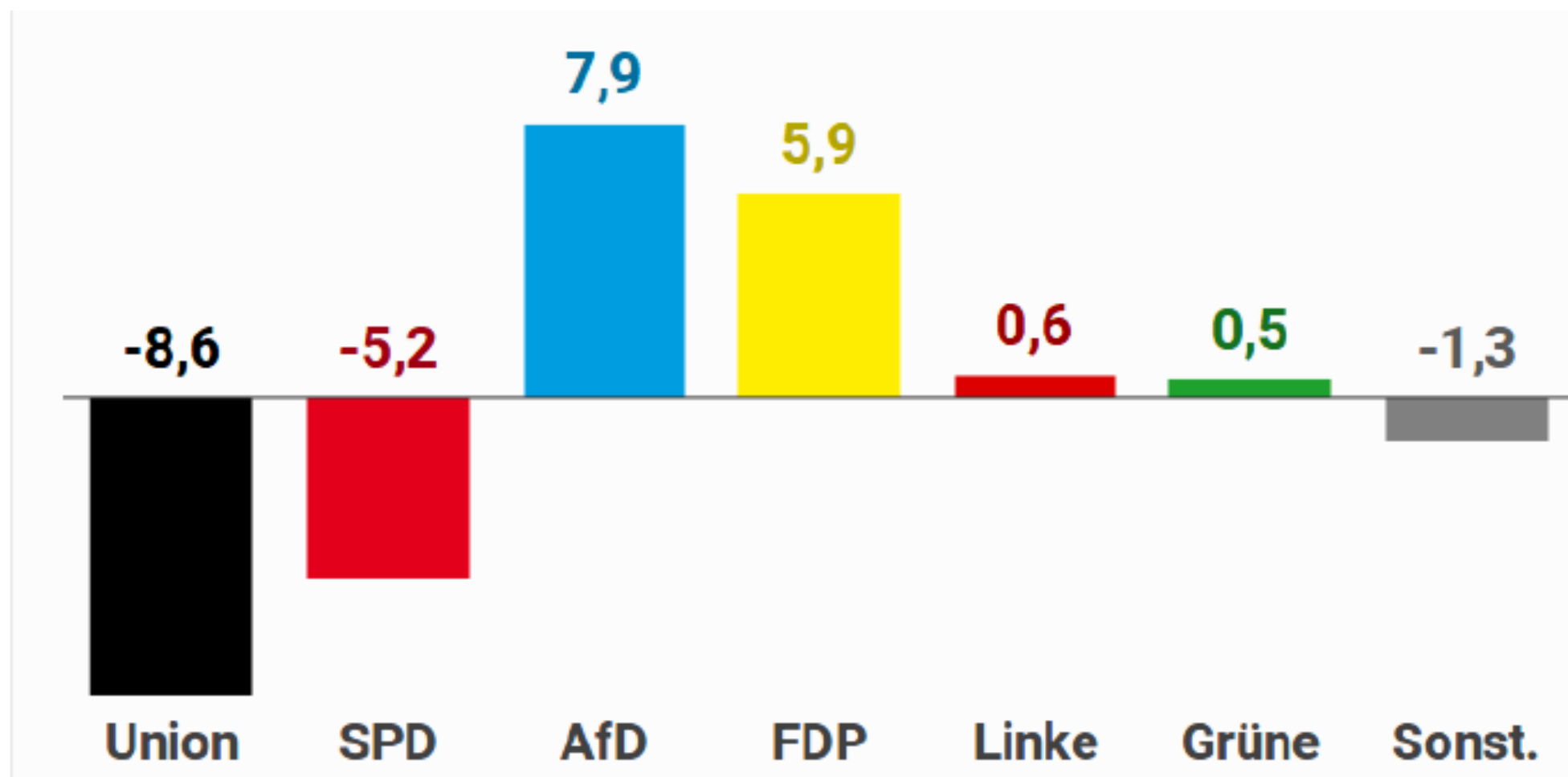
- 投票結果
- 勝ち組と負け組
- **AfD**の投票者は誰か
- 各政党の獲得議席数
- 選挙結果について
- 新政権は**Jamaika**か大連立の続きになるのか

投票結果と議席配分



勝ち組と負け組

前選挙との差



AfDの投票者は誰か

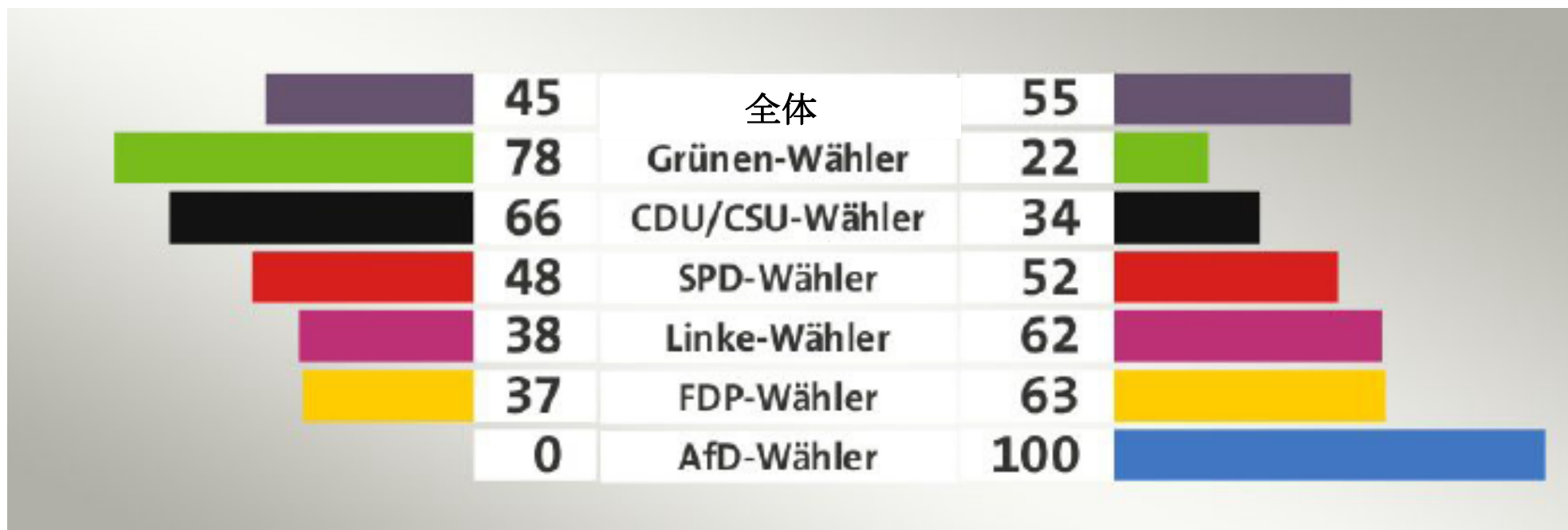


AfDの投票者は誰か

Merkel首相の難民政策について

満足

不満



AfDの投票者は誰か

他の人くれべて、私は不利に扱われていると思う人の割合

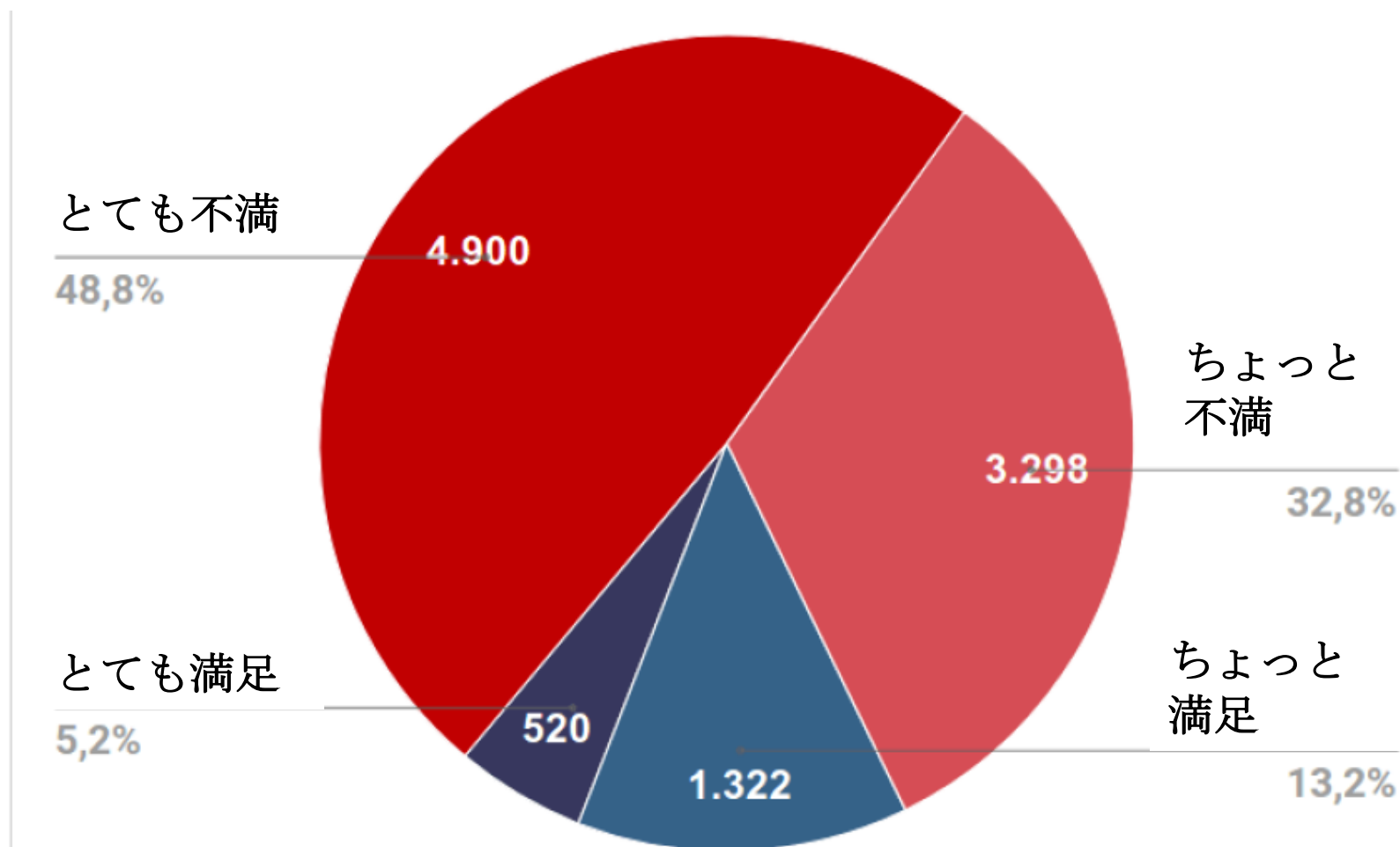


各政党の獲得議席数



総議席数はなぜ増加したか？

選挙結果について



新政権はJamaikaか大連立 の続きになるのか

州レベルの連立政権



		Hamburg, Bremen, Niedersachsen	
		Saarland, Sachsen	
		Mecklenburg-Vorpommern	
		Hessen	
		Baden-Württemberg	
			Berlin
			Thüringen
			Rheinland-Pfalz
			Sachsen-Anhalt
			Schleswig-Holstein
			Brandenburg
			Bayern
			Nordrhein-Westfalen

今後の課題

- 高齢化
- 社会格差
- エネルギー転換と温暖化対策
- デジタル化とネットワーク化への対応
- **EU**の諸問題の解決
- グローバル社会への貢献